コース紹介

コースに陽はまた昇る

競技オリエンテーリングの 楽しさを味わうことができ るパーマネントコースが、京 都・宇治にある。

「太陽が丘」コース 京都府宇治市 JOA 公認 No.789 4.0km 20 ポスト

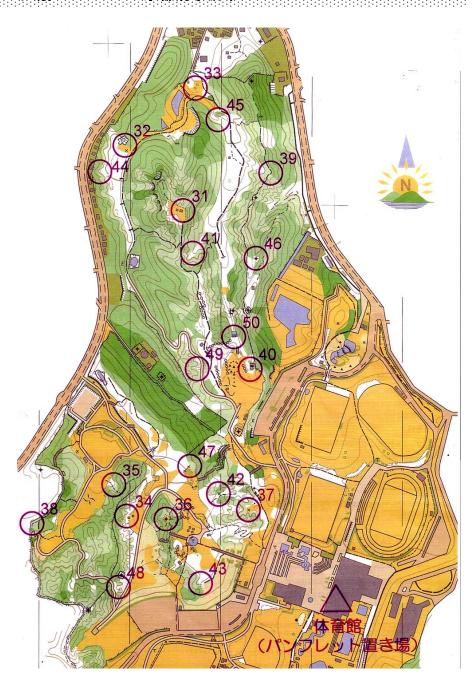
新たに公認されたコース

昔々、年間 50 ものパーマネントコー スが誕生していた時代がありました。 今思えば夢のような素敵な時代です。 一時のブームも去って久しい今、新設 コース誕生は奇跡にも思えるようにな りましたが、今年4月、京都府から一 気に 3 コースもの新コースが公認され た旨、JOA のホームページで報じられま した。

情報を精査してみると、新たにされ たコースというよりも、既に設置され たコースの公認申請がなされたという ことのようで、2009年に開設されてい た福知山市の三段池公園コースもめで たく公認コースの仲間入りとなってい ます。今回紹介する太陽が丘コースも、 ネット上の情報では 2011 年 1 月 23 日 にオープン済みで、1年遅れで公認とな りました。

パーマネントコースの新機軸

JOA での登録コース名は「太陽が丘ス コアオリエンテーリングコース」。地図 配布場所の太陽が丘管理棟を含めてス タート地点は自由に設定してよいとい う変り種の設定となっています。しか し、その実態は20のポストを自由に結 ぶフリーポイント OL で、ポストごとの 得点設定はありません。ポストにはパ ンチ台があり、従来のアルファベット を写し取るというスタイルとは異なっ ています。さらに、公認の20ポイント を巡ったことを京都府 OL 協会に申請す ると、非公認の上級コースのマップが 送られてくるという新機軸が採られ、 パーマネントコースの新たな仕掛けを 模索していることが伺えます。旧態依 然としていてはパーマネントコースの 利用者増加につながり得ないことは明 らかですので、こうした着想は頼もし い限りです。



学生で賑わうテレイン

今回は関西出張の足を活かして、金 曜日の晩に京都に宿泊。翌朝 JR 奈良線 で宇治へと向かいます。最初の数駅は 学生で混み合う電車も、奈良観光のア クセスの主役は近鉄に奪われているよ うで、ほどなく空き始めます。約30分 で宇治駅に到着。駅前のバスターミナ ルへと向かいます。太陽が丘に向かう バス停は階段下りてすぐのところにあ り、迷うことはありません。スポーツ 施設の充実した公園ですので、多くの 学生が集まり、間もなくやってくるバ スを賑やかに待っています。京阪宇治 駅を出発して太陽が丘へ向かうこの路 線は30分に1本の間隔で運行されてい ます。わずか10分で終点の太陽が丘へ。



地図は体育館で入手

パンフレット感覚の地図

体育館にある管理事務所の始業時刻 の8時半までさらに10分待って、扉が 開くと同時にマップを求めます。事務 所のキャビネットあたりから取り出さ れるマップを受け取ることが多い中、 ここは他のパンフレットと同様に、フ リーで持っていけるようラックに陳列 されています。マップ自体が2つ折の A4 サイズで、一見パンフレットと見間 違いそうになる体裁です。表紙にはポ ストの写真に「太陽が丘常設オリエン テーリングコース開設中」の文字。見 開きに説明文と「スタンプカード」と 称してポストのパンチ欄があり、ポス ト位置記載済の地図が裏表紙に印刷さ れています。スタート地点は自由に設 定可とされてはいますが、体育館に「パ ンフレット置き場」としてスタート地 点を示す三角印が記されています。た だしこの地図、縮尺の表示がありませ ん。JOA のホームページで 1:5,000 と明 記されていたことを頭に入れていたた め特に問題はなかったものの、OL の常 識としては必須記載事項ですので、今 後の増刷時には追記して欲しいもので

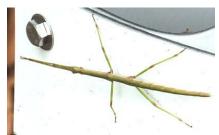
テンポよく展開するコース

古くから設置されている宇治平等院 太陽が丘コースの最終ポストもこのコ ースの外にあり、初めて巡るエリアに 全てのポストが設置されています。し かも道端ばかりではなく、巧みなコー ス設定。回る前から期待値がグッと高 まります。

全20箇所、最初にマップ南西エリア の 9 箇所を 43→36→34→48→38→35→ 47→42→37 の順で回り、次に北側のエ リアにある 11 箇所を 49→41→31→44 →32→33→45→39→46→50→40 と辿る ルートを選択しました。10km10 ポスト という一般的なパーマネントコースと は異なり、テンポ良く次々とポストを 発見していくことになります。

管理棟前の広場から、緑豊かな木立 の中に見える円形の池を正面に見据え て階段を下ります。途中で南に折れる と舗装道路の突き当たりで最初のポス トの43番を発見します。形状はまるで 大会のフラッグのよう。足元に頭があ り、パンチ台が取り付けられています。 公園利用者が偶然ポストを見つけたと しても、利用促進につながるよう解説 が掲示されているのは感心です。余談 ですが、このポストにナナフシが張り 付いているのを発見。8歳の少年の頃に 回った佐野唐沢山で同じようにナナフ シに出遭ったことを思い出しました。 34年ぶりの珍しい昆虫との遭遇に大人

になった今でもワクワク感が募ります。



ナナフシ発見!

鉄塔の下の36番、茅葺屋根の小屋に ある34番とチェックし、48番を沢で確 認します。道を歩いているだけでポス トに導いてくれるコースとは異なる設 定であることを、序盤から実感します。

道を辿ってフェンス沿いにひっそり 置かれた38番、広場に下って小道の登 り口にある 35 番のあと、堰の 47 番も アタックの面白いポスト。さらに、巨 大な鉄琴(木琴?)のオブジェの横にあ る 42 番から 37 番へのルートは道があ りません。通行可能度の高い林の中を 尾根に沿って上っていきます。林から 抜け出すと巨大なタイヤの横に立つ 37 番ポストがあり、これが表紙の写真に 使われています。



巨大タイヤと37番ポスト

前半の南西エリアを順調に終了し、 冒険の森と名づけられた北側のエリア の最初のポスト、49番へ向かいます。 これをテラスで発見後、林を突っ切っ て東の道に移り、アスレチック施設の 横を抜けてさらに北に進みます。途中、 風の回廊という木製の歩行通路の下を くぐり、41番を道から外れて沢を下っ た地点で発見。元の道に戻り、かつて は山のとりでという施設のあった広場 で31番を確認します。新しく休憩所が 作られましたが、賑わうスタート地点 周辺と同じ公園とは思えないほど静寂 に包まれています。

この先は行き止りのため、出戻りし て西へ下る小道に入ります。49番から 続く道に出たら北に向かうと44番なの ですが、道からはかなり離れた位置に あるので注意深く探しましょう。林を 直進するとフェンス脇に32番、調整池 の脇にある空き地に立つ樹木の脇で33 番をチェックすると、コースの4分の3 が終了。残すはあと5ポストです。

南に折り返し、45番は沢に隠れるよ うに置かれています。東に上る小道を 登ると尾根に到達。そのまま南へ向か うと小道の曲がりが39番です。こうし た山道でもウォーキングをする人たち とすれ違うことがあり、地元の方に親 しまれていることが分かります。

鉄塔の脇で46番を見つけ、無事終了 すると思いかけた50番のアタックに予 想外のことが発生します。尾根から沢 に下り、間もなくポストというところ で、地図にも記載のある小さな貯水池 が現れます。脇にでも迂回するルート が整備されていると思いきや、全くの 行き止まり。フェンス越しにポストは 見えており、引き返すのも癪なので池 沿いの林を突破して到達しました。芝 生広場の鉄塔の横で最後の40番を確認 すると、コースも終了です。



ルートに注意! 50番ポスト

競技0Lの楽しさを最初から体験者に 味わってもらうことを目的とすると、 こうしたコースの誕生は画期的とも言 えるでしょう。私自身も適度な緊張感 を保ちながら存分に楽しむことが出来

同じタイミングで公認された丹波自 然運動公園コースをこの満足感のまま 回るべく、すぐに京都に引き返し、山 陰本線に乗り換えて園部駅へと向かっ たのでした。

詳細はまたの機会に…。

(2012年6月23日踏破)(大高竜亮)